

忘れ物をなくすためには？

ここ最近というわけでもないのですが、多くの教科で、毎時間、忘れ物をする生徒が何人かいます。忘れたことを正直に申し出る生徒が多いので、その点は良いことだと思います。人間だから、たまには忘れてしまうことはあります。忘れ物をしない生徒の方が多いのですが(良い習慣がついていて大変素晴らしい!)、ただ、忘れ物をする人も少なくないです。

ひばりが丘中学校では学校に教材を置いて帰ってもよい(いわゆる「置き勉強」が認められている)ことになっています。そのためか、その日に必要な教材を家で準備することがおろそかになり(学校にあるから家で荷物の確認をしなくてもよいと思っている)、普段は使っていない特別な持ち物などを忘れてくる生徒が多くいます。また、家庭学習のために持ち帰ったものを、学校に置いてあると勘違いして忘れてくる生徒も多くいます。

忘れ物をした生徒には、「なぜ忘れたのか」と「どうしたら忘れ物をしないか」を聞くようにしているのですが、こんな答えがよく返ってきます。

なぜ忘れたか	どうしたら忘れ物をしないか
・勉強のために使って、そのまま机の上に置いてきてしまった。	・勉強が終わったらすぐにカバンに入れる。
・朝、起きるのが遅くて準備する時間がなかった。	・寝坊しない。 ・前の日に準備をする。
・忘れないぞう(持ち物を書く手帳)を見ながら荷物の準備をしていなかった。	・見ながら準備をする。
・忘れないぞうに次の日の持ち物を書いていなかった。	・ちゃんと持ち物を忘れないぞうに書く。

このように聞くのは、荷物を準備することに対しての自分の課題点と解決策を自分で考え、忘れ物をしないようにするとともに、その他の物事に対しても、自分で考え、より良く生活できるように改善していくことができる態度や力を身に付けてほしいからです。

返答の中には、忘れ物をした根本的な原因がわかっていなかったり、改善策として不十分な返答もあったりして、その解決方法で本当に忘れ物がなくなるの？と疑問に思うことがあります。例えば「使ったらすぐにカバンに入れる」というのは、忘れ物をしないようにするための根本的な解決になっていないように思います(もちろん、使い終わったら、すぐにしまうことは大切です)。荷物を準備するときに、必要なものを確認しながらカバンに入れるという基本的な習慣が身についていないから、忘れ物をするのではないのでしょうか。

原因の理解や解決策が不十分な時には、「でも、こうじゃない？」のように切り返して、問答をするようにしています。これは課題点と改善策を自分で考えるトレーニングということになりますが、これをしないと改善力は身につかないと思い、忘れ物をした生徒の数が多いときにも根気強く問答をするようにしています。

大人になり、仕事をするようになれば、仕事によっては様々な業務を同時並行で行ったり、複数の取引先と取引を進めたりすることもあります。また、家庭を持てば、仕事をしながら家事や生活にかかわる様々な手続きなどを行わなければいけません。忙しい中でも「必要なものや必要な行動を確認しながら準備をする」ことが必要になってきます。これは忘れ物をしないように準備することと同じではないでしょうか。

9教科の授業や学活、道徳、総合、部活動など、それぞれの活動で必要なものを確認して準備しなければいけませんし、課題であれば期限を把握して取り組み、期限に忘れず提出しなければいけません。校外での活動をしていれば、そちらでも必要なものを確認し、準備する必要があります。やるべきことはたくさんありますが、それが大人になるためのトレーニングになります。今、忘れ物が多い人も、自分で改善策を考え、実行し、忘れ物をしないように努力してください。立派な姿に成長してくれることを期待しています。

学年の先生のつづやき ～今週は加瀬先生より～

美術の授業では、10月から木製バターナイフ（またはスプーン）を制作しています。桂の木に自分で考えたデザインを描き、糸のご盤で切った後、切り出し小刀で削りました。初めて小刀を使う人も多く、初めはぎこちない手つきでしたがだんだん慣れてきて安全に気を付けながら上手に削れるようになりました。また、やすりがけにハマる人が多く、木の手触りを楽しみながら一生懸命磨いていました。完成後は、すぐに持ち帰ってパンにバターやジャムを塗って使いやすさを試してもらいたところですが、3月の「ひばり文化の日」に展示するため完成品は美術室で保管しています。展示後はぜひご家庭で使ってみてください！



オンライン期間中に制作した「粘土の野菜と果物」は試験後の授業でニス塗りのために持参してもらいます。記名したビニール袋に入れて忘れずに持ってきてください。

ニス塗りの様子…つやが出てよりリアルに！

<来週の予定>

日	曜	給食	1	2	3	4	5	6	学校行事等
22	月	○	学	○	○	○	○	○	生徒会認証式
23	火								勤労感謝の日
24	水	○	○	○	○	○	道	—	
25	木	○	○	○	○	○	○	○	
26	金	○	○	○	○	○	○	総	脊柱側わん症検診
27	土								

11/22(月)～ 生徒会認証式

後期の各種委員会委員長の認証式が行われます。体育館で、全学年が集まって行います。1年生は学年集会の時と同じ並び方です。教室前に整列して体育館に向かいましょう。

①学活⇒道徳「いのちって何だろう」

医者でありノンフィクション作家の徳永進さんのお話から、「いのち」とは何かを考えます。

24(水) ⑤道徳⇒総合 意見文学年発表会

それぞれの生徒が社会で起こっている出来事から自分でテーマを設定し、客観的な資料等を調べながら、自分の考えを「意見文」としてまとめ、10月に各クラスで発表しました。今回は各クラスで選ばれた生徒による学年発表を行います。代表者とテーマは以下の通りです。

- A組 「行き場のないペットたち」
- B組 「命の重さ」
- C組 「日本の借金を減らしていくには」
- D組 「不平等をなくそう」
- E組 「空気をきれいに、そして保つ！」

26(金) 脊柱側わん症検診

背骨が左右に曲がらず真っすぐかどうかの検診です。午前中の授業時間内で実施します。この日はジャージ登校で、検診時は半そでハーフパンツ姿になります。

⑥総合 スキー教室事前活動① スキー教室ガイダンス集会

1月に行われるスキー教室に向けての取り組みがスタートします。今回の実行委員は、後期の学級委員が務めます。初回は体育館でのガイダンスです。